

発行：吉田地区地域コミュニティ運営協議会事務局
0954-43-9380

ソーラン節用ハッピを吉小にプレゼント！

～みなさんから寄せられた鯉のぼりで作りました～



皆さんの家庭に眠っている鯉のぼりの提供を募集していましたが、何人もの方々から主に“武者のぼり”がたくさん寄せられました。これを吉田コミュニティ女性部の「笑ってYわい会（平山真佐子会長）」と子どもたちのお母さんたちと一緒により裁断・縫製作業を行い、このたび19着のハッピが完成しました。提供・製作のご協力ありがとうございました。

ハッピを10月22日の体育大会に6年生15名に着用してもらいたくて、Yわい会やお母さん方は、急ピッチで作業を行い、なんとか10

月16日の午前中

に吉田小学校へ贈呈することができました。はじめはハッピを隠していましたが、一斉に目隠しを外して見てもらった瞬間にお気に入りハッピを見つけて飛びついてくれる児童もいて、背中の虎や武者に興奮気味の様子でした。

贈呈式では、平山会長から「製作は大変だったけど、吉田の子どもたちに着せようと思って、みんなで頑張った。」ことなどをお話しました。最後に6年生の八谷大翔君から「ありがとうございます。運動会でもこれを着て頑張って踊ります。」とお礼の言葉が述べられました。



9月26日から11月30日まで「あいさつ運動」実施！



毎週火・木曜日の7時30分から、吉田小学校・中学校の正門前であいさつ運動として、吉田コミュニティ、PTA、学校運営委員の皆さんが、小・中の児童・生徒と元気に爽やかなあいさつを交わしています。

特に木曜日の中学校では、イングリッシュデイということで「グッ、モーニング」と英語によるあいさつの日となっており、あいさつから英語に慣れ親しむ取り組みがされていました。

笑ってYわい会が視察研修に行きました

9月26日に笑ってYわい会主催の視察研修を実施しました。Yわい会のメンバーや一般女性の方15名の参加で福岡県大木町の「おおき循環センターくるるん」を訪問しました。「くるるん」は、従来焼却処理していた生ごみや浄化汚泥・し尿をエネルギー資源として、また有機肥料として再生する施設でした。担当の元気な係の方の説明のあと、実際に処



理施設を見学しました。若干の匂いはあったものの清潔に保たれており、迷惑施設にならないような配慮を感じました。参加者からは、「紙おむつ」の処理方法などの質問があり、なるほどと思える回答が得られていたようです。

視察終了後は、大木町地産地消のビュッフェ方式による昼食をいただいて帰路に着きました。



第2回吉田地区レクボッチャ大会を開催します！

来年のSAGA2024で嬉野市が開催場所となる競技「ボッチャ」。これを競技志向ではなく、だれでもが楽しめるレクリエーションとしてのレクボッチャ大会として開催します。昨年の第1回大会は初めてということもあり、試行錯誤の運営となりましたが、参加者からは「楽しかった、次回も参加する。」というような感想を後日いただき、さらに楽しいイベントにする予定です。

期日：令和5年11月26日（日）8時30分～

場所：吉田小学校体育館

申込：各区のスポーツ部長に申込み ※参加者は体育館用のシューズをご持参ください。



健康マイレージの取り組みについて！

嬉野市役所（健康づくり課）が、毎年実施している「健康マイレージ」は、吉田コミュニティで、地区の皆さんの健康づくりの一助としてチャレンジシートの提供や健康づくり課への提出のお手伝いをしたいと思っています。健康マイレージの点数が、100点を越えた方は12月中にその申請書をコミュニティに持って来ていただければ、まとめて代理申請を行います。1月中に希望商品を取り寄せますので、2月中に受取りに来てください。また、代理申請には委任状が必要なので、認印をご持参ください。なお、申請書や委任状の様式はコミュニティに用意しています。



編集後記

またまた健康ネタとなりますが、「吉田健康あいうえお」というのを考えてみました。「あ」は、「朝日を浴びて深呼吸・・・」「い」は、「いつもどおりの腹八分目・・・」「う」は、「ウォーキングで足元達者に・・・」「え」は、「笑顔あふれる上機嫌・・・」「お」は、「お友だちと仲良くおしゃべり・・・」というものです。実は違う原案がありましたが、職員サポーター代表である市役所の佐熊統括保健師から、「固すぎる、リズムがない。」とダメ出しされて、その助言に沿って大幅に修正しました。

コンディションや環境はそれぞれ異なりますので、ご自分の「健康あいうえお」とかを考えてみられたら、どうでしょうか。